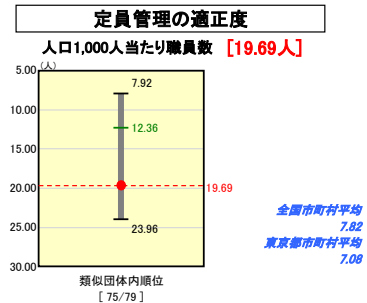
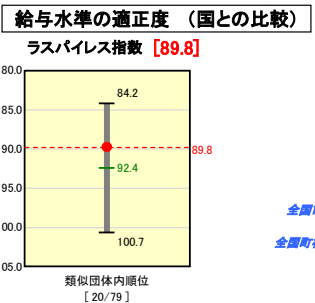
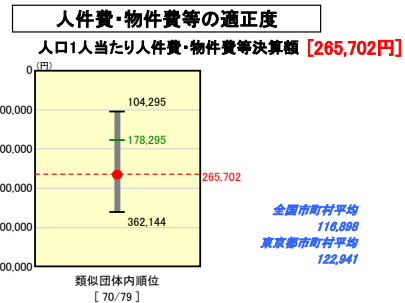
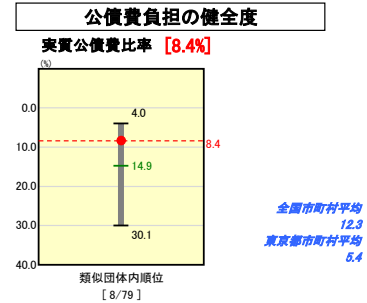
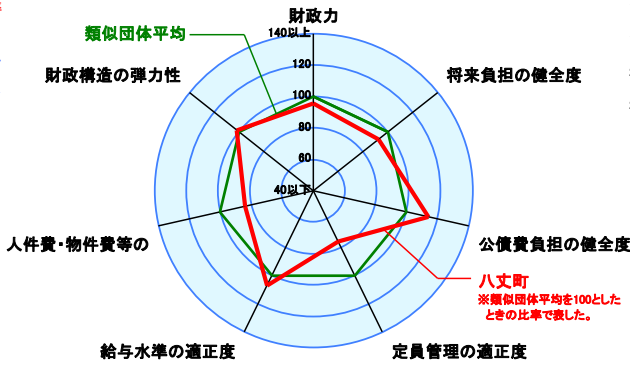
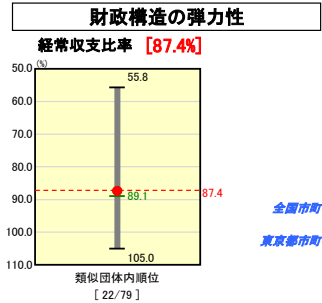
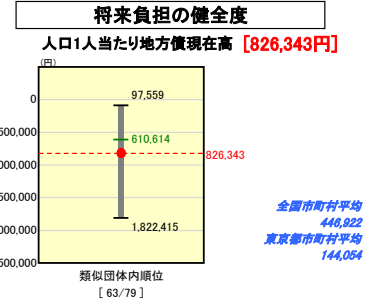
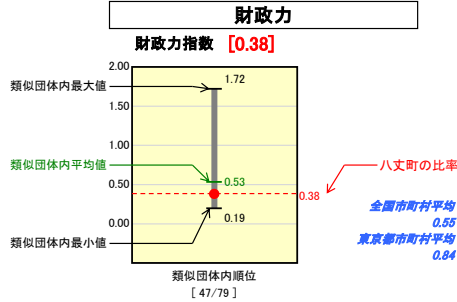


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 東京都 八丈町

人口	8,480 人(H20.3.31現在)
面積	72.62 km <sup>2</sup>
歳入総額	7,297,396 千円
歳出総額	7,041,740 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力指数: 財政力指数は、0.38と類似団体平均を下回っており、国、東京都に大きく依存している状況である。今後は、類似団体の平均値を確保できるよう、行政の効率化により、歳出削減をはかるとともに、税の徴収率向上へ取り組み財政基盤の強化に努める。

経常収支比率: 昨年度より、特定財源(都支出金)が増加し、3.8ポイント好転しているが、今後も事務の効率化等により、義務的経費を抑制し、最低でも、現在の水準を維持していきたい。

人口1人あたり人件費・物件費等の決算額: 類似団体平均を大きく上回っているのは、温泉、ごみ処理施設、給食センター等の施設運営による物件費、維持補修費の影響が大きい。今後は、施設の統合、更新時期、省エネ化なども考えながら、コスト削減を図っていく。

人口1人あたりの地方債現在高: 臨時財政対策債や学校建設等大規模事業が続き、類似団体平均を上回っている。今後は、実質公債費比率: 交付税措置のある起債を優先してきた結果、類似団体平均、全国平均を大きく下回っているが、今後も適切な地方債管理を行い、現在の水準を大きく上回らないよう努める。

ラスパイレス指数: 全国、類似団体平均を下回っているが、今後も国に準じて給与の適正化に努めていく。

人口1,000人あたりの職員数: 保育所等を直営しており、全国、東京都、類似団体平均を大きく上回っているが、集中改革プランに基づき、業務の電子化、民間委託の推進により、職員数を削減していきたい。(平成22年度には、平成19年度対比4名減を目標)